

広報・教育部門

応募事例名

ドボクアートプロジェクト

～学んで・触れて・観て・表現して下水を体験しよう！！～

応募団体名)福岡市

応募事例の概要

- ・浸水対策工事基地の防音ハウスに「建設業の明るい未来」をコンセプトにしたアートを掲示
- ・小学生を対象に建設業のお仕事教室や下水道トンネル探検、お絵描きイベントも開催

福岡市の浸水対策の工事現場で、下水道の役割や機能、更に魅力を小中学生に広く知ってもらうため、「**学んで・触れて・観て・表現して、ドボクを体験する**」複合体験イベントを実施！！

ドボクを学ぶ

お仕事
教室下水道
トンネル探検

ドボクに触れる

ドボクアートプロジェクト

防音ハウス
アートシールドマシン
お絵描き

表現する体験

芸術を観る



PRポイント

- ・工事基地にプロのアーティストによる『建設業の明るいミライ』をテーマにしたアートで彩ることで、ドボクを考えるきっかけを作りコミュニケーションの活性化を図り、市民の方や現場で働く人のWell-Beingの向上に寄与した。
- ・一方通行型の広報・イベントにならないように、小中学生が楽しめるよう、クイズを多用したお仕事教室、下水道トンネルを活用した探検ツアーを開催した。
- ・イベントの締めくくりとして、学んだこと、触れたこと、観たことを、シールドマシンに子どもたちにお絵描きしてもらい、工事が無事に完成するよう応援してもらった。

取組みに関するエピソード

イベント当日は、参加した小学生によってSNSの動画が作成・投稿され、福岡市側からの発信だけでなく、参加者目線での発信もすることで、幅広い年齢層へ、拡散的に下水道の魅力を広報することができた。ドボクアートプロジェクト以降、職員の広報に対する意識の向上が見られ、今後は現場見学会や高校生等による工事基地アートの掲示企画など広報活動の活性化が図れた。



道路下水道局 建設部
プロジェクトリーダー
的場 貴祐